

第二十五回がん哲学塾

ニュースレター

発行日：2020年 8月23日

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター

E-mail:juku_0307@yahoo.co.jp

8月1日(土) 新型コロナウイルス感染対策のため、
Zoomにて第31回メディカルカフェを開催しました。

「変化」

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター

5回生 園部愛梨

今回のメディカルカフェはコロナの影響で初めてのZoom開催でした。

そして私にとっては初めてのことがもう一つありました。今まではただ学生として参加していたけれど今回は自分が薬局実習を終え、病院実習生としての参加だったので見え方が全然違いました。この2つの変化が今までとは違うと感じた部分でした。

まず、Zoom開催についてですが結果から言うと私自身も事前に練習してはいたものの当日は参加の仕方が変わっており困惑した部分もありましたが、慣れたらきっともっともっと役に立つツールだと思いました。

Zoomだと準備も省略できるし会話も思ったよりも不便ではなかったです。むしろ、この社会の状況下だからこそとん会話の仕方も変化していくことになるであろうし皆が皆順応できるようになるといいなと思いました。

私は今ちょうど病院実習中で病棟での実習が最近増えてきました。そんな中、自分が勉強している治療を今回お話しした方もやっておられ副作用についてお話を聞きました。

やはり患者さんによって同じ治療でも副作用の出方が異なるなと感じました。

そして抗がん剤治療で髪の毛が抜けてしまうことに対して病院実習では治療後の2、3カ月で髪の毛が生えてきますよと患者さんに伝えていたけれど、実際にその方のお話を聞くと、これも個人差によると思いますが地毛で生活できるまでに8カ月～1年半ほどかかったそうです。生え始める時期だけをいつも服薬指導していましたがどの患者さんにも同じ服薬指導をするのではなく患者さんに合わせた説明の仕方をしていかなければいけないなと思いました。

参加して頂いた方のお話の中に、医者に対してですが軽い感じで説明を受けたため信頼できなかったというお話がありました。患者さんに信頼してもらえるように、私は今の病院実習で知識をより一層つけて自分が理解した上できちんと説明でき、患者さんに安心感を与えられるような薬剤師になりたいと思いました。

「Zoom でのオンラインカフェで感じたこと」

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター

5 回生 恵美良太

新型コロナウイルス蔓延の影響で、約半年ぶりにメディカルカフェを開くことができました。ですが、いつもは対面でお話しするところを、今回は Zoom での画面越しで、中には会ったこともない方とお話しするということが最初はすごく緊張もしていました。いざスタートしてみると、意外とすんなりと馴染め、たくさんのお話をすることができました。僕の班は僕を含め全員ががん経験者でした。ですので、自分のがんに罹患する前と後での考え方についてお話をさせて頂いたのですが、思いの外、全員意見が一致でしました。まず一つ目は自分のことだけではなく他人にも目を配れるようになった、ということでした。自分のことや目の前のことで一杯一杯だったことが、がんという大きな課題を乗り越えたことで自分に余裕ができ他人の手助けや気配りが以前よりできるようになったのかなと思います。2つ目はやりたいこと、しないといけないことはすぐにする、ということです。以前は嫌なことやめんどくさいことは後回しにしがちでしたが、現在はやらないといけないことはすぐにやっちゃって自分のやりたいことをやって日々を充実させようと思うようになりました。このように、がんを経験した患者は「かわいそう」ではなく、していない人よりも「強い意志」、「強い心」を持っているのだと僕は強調したいです。

「初めての Zoom メディカルカフェ」

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター

4 回生 北夏実

今回のメディカルカフェは、初めての zoom でとても良い経験になりました。何が良い経験なのかと言うと関西圏の方だけでなく、他県からの参加も可能になったことにより、もっとたくさんの人にメディカルカフェを知っていただけるのではないかなと考えることができたからです。そして今回はコロナが原因で zoom になったわけですが、普段からも抗がん剤治療などさまざまな治療をしている方で外に出にくいと思われた方などにも気軽に参加することができるのではないかと可能性を広げられるものとなったと思います。今回のメディカルカフェの班の方からのご意見の中には普段からも会場と繋がれたらもっとたくさんの人と繋がれるし、僕みたいに体力が普通の人よりも無い人には少しでもその日の体調が悪かったらその場に行かずに参加できるから嬉しいかも、という意見もありました。私たちはそのような経験もしたことが無いし、実際経験されている方からのご意見も大切だなと実感しました。そして、この zoom と会場を繋ぐというのは一見簡単に見えるけれど、やはりお年寄りの方や不慣れな方には難しいのではないかとも思いました。けれど、それでも参加したいと言ってくれる人がいるのならば、私たちも頑張りたいなと思いました。

次ページへ続く

他にもがん患者さんに対して薬剤師がどのようなサポートをしているのかを聞くことができました。医療者からしたら、「がんです。」と診断された次の日から抗がん剤治療を開始するというのは当たり前なことかもしれないけれど、患者からしたらパニックだよね。ということでした。私もあまりその辺のことはまだ知らなかったのが驚きましたが、がんの進行をすぐ抑えるためにはそりゃそうかなと納得してしまいました。けれど患者さん自身は、突然ということもあり気が動転して、抗がん剤の作用や副作用を話してくれているが全く頭に入ってこないと言っていました。でもそんな時に、薬剤師が紙に書いてくれたことにより、後からちゃんと見返して、受け止めることができましたという経験を聞いて、まだ何も知らない私からしたら、とても納得することでした。それと同時に薬剤師が患者さんにこのような形で向き合っているのだということが知れてとても嬉しかったです。

私はメディカルを通して、本当にたくさんの経験を積むことができていると確信しています。普段考えないようなことを考える機会にもなるし、新しい発見も毎回出来ていると思います。そして、がん患者さんだけでなく、様々な職種の方とお話する機会にもなって、色々な方面からの考えも知ることができてとても嬉しいです。最近では、将来、私が愛媛に帰った時にはメディカルカフェを開きたい、是非広めていきたいなと思っています。まだまだ先ではありますが、いつかの夢を叶えられる日がきたら良いなと思います。また、実習にいつてる先輩の話も聞くことができて良かったです。ますます実習に行きたいなという気持ちが増えました。

顧問：樋野興夫

塾頭：沼田千賀子

副塾頭：横山郁子

塾生：園部愛梨、恵美良太、渡邊理乃、北夏実